



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	発刊の辞
Author(s)	安藤, 毅
Citation	電子科学研究, 1
Issue Date	1993
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/24267
Type	editorial
File Information	1_Hakkan.pdf



発 刊 の 辞

北海道大学電子科学研究所は、50年の歴史をもつ応用電気研究所がその設置目的である「電気の応用に関する総合研究」を学術研究の動向及び時代の要請に対処して厳しく見直した結果、今後は電子技術の基盤をなす電子科学の研究へこそ向かうべきであると結論し、それに基づいて平成4年度より「電子科学に関する学理及びその応用の研究」を目的とする研究所に改組・転換して出発したものである。

本研究所は、従来の研究部門を「電子材料物性」「電子機能素子」「電子計測制御」「電子情報処理」の4つの大研究部門に統合再編成して、学術の動向に柔軟に対処できる体制をとっている。研究部門の中には、研究の単位となるものが「研究分野」の名称で設けられ、各研究部門は4ないし5の研究分野から構成されている。その中の一つは客員研究分野であり、加えて附属電子計測開発施設を有している。

本研究所での研究は各研究分野での独自の研究展開を中核としているが、工学、理学及び医学などの異なる分野の研究者を擁している特色と新しい研究体制を生かし、境界領域の共同研究にも積極的に取り組んでいる。その一例として、研究所特定研究費で、幾つかの部門の研究領域にまたがるプロジェクト研究を推進するとともに、所内措置として部門内の幾つかの研究分野が共同で行なう研究プロジェクトに経費の支援を行なっている。

本研究所では、研究成果はすべて学会誌、学術雑誌等を通じて世界に広める方針をとっているが、研究所の研究活動をより広く理解してもらうため、今年度より年刊の「電子科学研究」を刊行することとした。

「電子科学研究」は、「解説」、「プロジェクト研究報告」及び「研究」からなる。「解説」は各研究部門が順次担当執筆するもので、その研究部門に属する各研究分野が最近取り組んできた重要な研究課題に関して、専門の異なる読者にも理解できるように平易な解説を行なうことを目的としている。本号ではそれを「電子情報処理研究部門」が担当している。「プロジェクト研究報告」は、前年度から所内で行われている研究部門にまたがる研究または研究部門内の共同研究プロジェクトの報告からなる。本号では研究部門内の共同研究プロジェクトの報告2件を掲載し、現在継続中の研究所特定研究の報告は次号に回す。また、「研究」の項では、本年度の電子科学研究所研究発表会での講演原稿を研究速報として掲載する。「プロジェクト研究報告」及び「研究」の中の主なものは後日論文としてまとめられるものである。

応用電気研究所では、研究所で蓄積された特殊な計測データや新しく開発された技術などで重要ではあるが印刷公表する機会が少ないものの発表を目的として、不定期に「応用電気研究所技術報告」を刊行してきた。これは13号におよんだが、今後は技術的な研究報告は研究支援組織である技術部の報告に移し、「電子科学研究」の発刊により、この「技術報告」は廃刊とする。

この「電子科学研究」を通じて電子科学研究所の中心的研究課題および主要な研究成果が広く理解され、学内外との共同研究へと発展することを期待する。

平成6年1月

北海道大学電子科学研究所

所長 安 藤 毅